

教育学部・国際協力推進プラットフォーム連携プロジェクト

『アジア地域における国際教育協力事業 —カンボジア王国 Siem Reap 州教員研修支援の モデル構築に関する研究—』

実施期間：平成24年11月14日～21日

教育学部：和泉研二 友定保博 海野勇三 佐伯里英子 入江航生
附属光小学校：鎌田潤一

実施目的(ミッション)

国際貢献は大学に課せられた重要な責務の一つであるという認識の下、教育学部が有する長年の学校教育や教員養成の知識や経験を活かし、アジアの発展途上国の学校教育や教員養成に関する支援活動を実施する。

(学生への還元：

国際貢献、国際理解、日本の教育の理解、
国際的な視野の育成、)

活動計画(ビジョン)

第1段階：

途上国の教育について情報収集を行うとともに、現地に赴き現状を観察分析し、課題を発掘。

第2段階：

現地の状況に適した教員研修支援の在り方を探るため、現地小学校にて支援の試行を実施。

第3段階：

国内外の行政機関、JICA、NGO等と連携をはかり、教育に関する国際支援プロジェクトを実施。

活動場所とカンボジアの教育の背景



カンボジアの教育事情(歴史的経緯)

- ・1975年からの3年間のポル・ポト政権下で、総人口の約1/3が殺害。
- ・人的にも施設のにも教育基盤が崩壊。
- ・ポル・ポト政権後、ベトナムの支援で誕生したヘン・サムリン政権は、一から教育制度を立て直す必要があった。人材難のため、当初は、読み書きさえできれば先生になってもらったことも少なくない。
- ・1991年のパリ和平条約、1992年からのUNTAC駐留を経て、急速に発展。
- ・国連や先進国からも多くの支援を得ながら、教員の質や教育システム、教育内容の充実・再構築に取り組んでいる。

これまでの活動(関連する活動を含む)

第1段階:調査

H20年度:初の現地調査の実施

(阿部弘和、和泉研二、小粥良)

ベトナム(ホーチミン)

カンボジア(シェムリアップ、プノンペン)

ワット・ボー小学校、PTTC(教員養成学校)初訪問

JICA、RTTC、プノンペン大学、国立教育研究所

H21年度:現地調査の実施(石井由里)

H22年度:カンボジアより小学校関係者3名を招聘

(シェムリアップ州ワット・ボー小学校より)

これまでの活動(関連する活動を含む)

第2段階:初の試行+調査

H22年度:授業および講習会の試行、方向性の模索

(1)理科授業の実施(ワット・ボー小学校)

(2)学校保健講習会の実施(ワット・ボー小学校)

(3)カンボジアの学校教育事情の調査

チョンクニエス村の小学校、同保健センター、
トルロビアン・宮下小学校、パックパン小学校、
ササースダム群中核学校、スピッターラ小学校、
ワット・チャオ小学校

和泉研二、友定保博、海野勇三、阿部弘和

これまでの活動(関連する活動を含む)

第2段階:調査+試行

H23年度:試行の充実化・今後の方向性の確定

(1)学校保健講習会の実施(ワット・ボー小学校)

(2)新しく正課となった体育授業の実施

(ワット・ボー小学校;現職小学校教員初参加)

(3)山口大学独自の支援拠点の探索

(チョンカル小学校初訪問)

(4)カンボジアの小学生の生活実態の調査

(5)カンボジアの大学生との交流と意識調査

(プノンペン大学;学生初参加)

(6)日本の支援活動の実態調査および今後の方向性

に関する調査(PTTC、JICA、日本大使館、NGO法人等)

(和泉研二、海野勇三、阿部弘和、田中大輔、林秀晃)

これからの(24年度からの)活動方針について

~3つの支援活動と3つの拠点~

限られた資金と人材の焦点化

1. 教員養成への支援

シェムリアップ教員養成学校(PTTC)との連携

2. 現職教員への支援

ワット・ボー小学校の他、山口大学独自の拠点を確立(チョンカル小学校を拠点とした学校群)

3. 日本研修

PTTC、ワット・ボー、チョンカルの関係者の招聘

平成24年度の活動(関連する活動を含む)

第2段階から第2.5段階へ

- (1) ワット・ポー小学校での理科授業(小学校教員)および学校保健講習会の実施
- (2) 教員養成学校(PTTC)での理科授業と講習会の実施(理科(小学校教員)と学校保健)
- (3) チョンカル小学校運動会実施予備調査(山口大学独自の支援拠点として)



(運動会の実施へ)

ワット・ポー小学校での学校保健講習会 PTTCでの学校安全講習会



附属光小学校教員によるワット・ポー小学校での理科授業(空気と水の圧縮性)



PTTC(教員養成学校)における理科授業(振り子の周期、クラフ化、規則性、授業・教材検討)



運動会に向けた予備調査で訪れたチョンカル小学校



今回の主な成果

- ・ワット・ボー小学校およびシェムリアップ州PTTCとの絆をさらに深めることができた。
- ・山口大学独自の支援拠点校になり得るチョンカル小学校での運動会に向けた準備・協議ができた。
- ・帰国後の報告会を通して、国際理解・国際支援に関する学生や児童の理解、興味関心を深めることができた。
(附属小学校や理科ちゃぶ研修会など)



H25年度の計画(案)

- ・教員養成支援
教員志望学生および教員養成校の教員への支援として、引き続きPTTCにおいて授業や講習会を行う。
- ・現職教員支援
学校現場への支援として、引き続き、ワット・ボー小学校において授業や講習会を実施する。
- ・新たな試み
学生参加型支援活動の発展および理科教育へのニーズを鑑み、「サイエンス ワールド in カンボジア」(仮称)を、PTTCにおいて実施する。
- ・日本研修
PTTC、ワット・ボー、チョンカルの関係者の招聘